

---

令和2年度  
7月補正予算（案）  
説明資料

---



奈良市  
Nara city

# 補正予算（4つの柱）

総額：22億7,272万9千円

第2波・第3波に備えた医療体制等の準備と生活・事業継続に困っている方々等への支援、そしてウィズコロナ、アフターコロナ対応の「新しい生活様式」を見据えた対策について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、緊急対応します。

## I. 医療提供体制の整備と感染拡大の防止

1~16 10億4,956万6千円

- 医療提供体制の整備
- 園・学校の感染拡大防止対策
- 市施設等の感染拡大防止対策
- 避難所等の感染拡大防止対策
- 安全安心な観光体制の整備と修学旅行生等のサポート

## II. 市民・事業者等への支援

17~23 5億8,365万円

- 公共交通利用時の感染拡大防止対策と外出支援
- 事業者への事業再開支援
- 医療従事者等への慰労
- 新生児子育て世帯支援

## III. デジタル化・非接触社会への対応

24~29 2億6,227万9千円

- 観光案内の無人化・見える化
- 図書館の機能強化
- 月ヶ瀬・都祁地域の光ファイバの整備
- 行政事務のデジタル化・オンライン化

## IV. 新たなくらしと将来を見据えた経済対策

30~36 3億7,723万4千円

- 高齢者の新しい生活様式への支援活動
- 新たな価値を生み出す観光
- 地域経済力の強化
- GIGAスクール構想の推進

## 主な施策

### 医療提供体制の整備 **4億5,363万円** (担当課：医療政策課)

#### 1 休日夜間応急診療所への発熱外来の設置

**1億7,051万2千円**

7月初旬からの感染患者急増やそれに伴う濃厚接触者の増加により、要診察者や要PCR検査件数も増加している。

それらに対応するため、**休日夜間応急診療所に発熱外来専用の診療施設を設置**する。

#### ■開設日時（予定）

平日（3日／週）：15時～19時・22時～6時  
土曜日：15時～19時・22時～6時  
日曜日・休日：10時～19時・22時～6時

#### 2 ドライブスルー検査体制の拡大

**4,314万7千円**

#### 3 PCR検査能力等の拡充

**1億7,877万1千円**

既設のドライブスルーの体制を拡大することにより、検査件数の増加に対応するとともに、新たに医療検査センターにPCR検査機器等を導入し、感染者を早期に発見する。

#### ■ドライブスルー検査体制

**場所** 医療検査センター

**現状** 火・木曜日 10検体／日



**拡大後** 火・木曜日 **20**検体／日  
(最大**24**検体／日)

## 主な施策

### 4 妊婦のPCR検査費用の補助

**4,620万円** (担当課：母子保健課)

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、妊婦は日常生活等が制約され、自身のみならず胎児の健康について強い不安を抱えて生活している。そのため、不安を抱える妊婦がかかりつけ産婦人科医と相談し、本人が希望する場合に分娩前にPCR検査を受けるための費用を補助する。

■補助額：上限**2万円** (1回のみ)

### 5 新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の搬送体制整備

**1,500万円** (担当課：保健予防課)

新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者のうち、公共交通機関以外の移動手段がない人に対し、受診の送迎を支援している。

感染者が増加している状況に鑑み、感染防止策を講じた専用車両を整備し、適切に患者等を搬送するとともに、現在保健所職員が対応している搬送業務を委託する。

■経費：車両購入費・燃料費 520万5千円  
搬送業務委託料 979万5千円

## 主な施策

### 園・学校の感染拡大防止対策 **2億5,005万9千円**

**6** 遠足時におけるバスの密集対策（園・学校）  
**4,803万円**（担当課：保育総務課、教育総務課）

園・学校の遠足において貸切バスを利用する場合に、バス車内での感染拡大防止対策として、密集状態を回避できるよう、追加で手配するバスの経費を支援する。

**7** 園舎、校舎の換気扇整備、園舎の扇風機改修  
**7,779万3千円**（担当課：保育総務課、教育施設課）

教室等の換気を行うための機器（換気扇・扇風機）の整備・改修を行い、換気効率の向上を図る。

換気扇整備 6,572万2千円（園・学校）

扇風機改修 1,207万1千円（園）

**8** 園における遊具等感染防止対策  
**6,636万5千円**（担当課：保育総務課）

密を避けるため昼寝時に使用する子供用簡易ベッド、空間を仕切るためのパーティションを購入する。また、消毒が可能な室内遊具及び屋外での活動を支援するためのメッシュテント等も購入し、感染防止に努める。

**9** 給食用トレイの購入（学校）  
**5,787万1千円**（担当課：保健給食課）

個人用トレイ未設置校（中学校3校、小学校41校）に対し、学校給食配膳時に直接食器等に触れる機会を減少させるため、給食用トレイ、食器盆箆を購入する。

また、導入に伴い必要になる収納機器（消毒保管機）を配備する。

## 主な施策

### 市施設等の感染拡大防止対策 **8,874万9千円**

#### 10 マスク・消毒液等の備蓄・配布

**5,000万円**（担当課：医療政策課）

感染拡大防止のため、施設等へマスク、消毒液を配布するとともに、**第2波、第3波に備えマスク・消毒液等を備蓄**する。

#### 11 窓口対応対策・事務室の換気設備整備

**1,510万円**（担当課：総務課）

市庁舎窓口に飛散防止用パネルを設置し、安心して市民が相談できる環境を作る。  
また、本庁舎の窓の無い事務室等に換気設備を整備し、換気機能の強化を図る。

#### 12 書籍消毒機の整備

**564万9千円**（担当課：中央図書館）

市立図書館3館に書籍消毒機各2台を導入し、書籍に生息する各種のウイルスや病原菌、大腸菌などを紫外線による殺菌除去等を行うことにより、利用者の快適で安全な読書環境を整える。

#### 13 市民等への感染拡大防止の啓発

**1,800万円**（担当課：秘書広報課）

タウン誌や路線バスのラッピング広告等、各種の媒体を活用した広報活動により、市民等へ新型コロナウイルス感染拡大防止の啓発を行い、市中感染拡大の防止に繋げる。

## 主な施策

### 避難所等の感染拡大防止対策 **1億3,239万8千円**

#### 14 避難所における感染防止対策物資の備蓄

**8,289万8千円** (担当課：危機管理課)

不特定多数の方が利用する避難所施設では、集団感染のリスクがあり、その防止と避難所への避難に対する感染症への不安解消を図る必要がある。

マスク、アルコール消毒液、非接触式体温計のほか、  
テント型間仕切り、テント付き簡易トイレ等を購入、  
**備蓄**し安心して避難できる体制を確保する。

#### 備蓄物資

- ・ マスク 10万枚
- ・ アルコール消毒液 1,500本
- ・ 非接触体温計 300個
- ・ テント型間仕切り・マット 1,500セット
- ・ テント付き簡易トイレ 150基
- ・ 液体ハンドソープ、除菌シート、ペーパータオル、蓋つきゴミ箱、収納ボックス等

#### 15 防災指導車の整備

**4,950万円** (担当課：消防総務課)

防災指導車（起震装置等を備えた車両）を整備することで、防災センターでの集合型ではなく、小学校や地域で実施される防災訓練等の屋外での防災啓発を行うことが可能となる。

防災センターでの感染拡大を防止するとともに、市全域での防災啓発を図り、防災・減災意識の高い社会の構築を目指す。



※車両部分は「総務省消防庁無償使用車両」を活用、  
**コンテナ部分を整備する**

## 主な施策

16

### 安全安心な観光体制の整備と修学旅行生等のサポート **1億2,473万円**

(担当課：観光戦略課)

#### 感染症対策等への補助 **5,000万円**

奈良県が民間事業者や団体等に行う新型コロナウイルス感染症対策観光振興補助に対し、県補助分(2/3)の残り1/3を市で補助する。

主な補助事業：宿泊施設等の安全安心の確保のための取組

#### 観光施設の感染症予防対策 **3,173万円**

観光案内所の案内カウンターのパーテーションやサーマルカメラ等を整備する。また、換気機能強化のための空調設備の更新や観光トイレ整備を行う。

対象施設：総合観光案内所、近鉄奈良駅観光案内所等

#### 宿泊施設への対応 **1,000万円**

宿泊施設で新型コロナウイルス感染症患者(宿泊客)が発生した場合における館内の消毒作業にかかる費用を補助する。

補助額：上限**100万円**／1施設(10施設分)

#### 感染症にかかる修学旅行生等支援 **600万円**

修学旅行生が新型コロナウイルスにかかるPCR検査によって陽性となった場合、当該修学旅行生の保護者の移動等にかかる費用を支援する。

補助額：移動等費用 保護者**10万円**／人(60人分)

#### 修学旅行生等の待機用客室確保 **700万円**

修学旅行生等がPCR検査待ち等の際に待機場所を自らで確保できない場合に備え、宿泊施設の客室を確保する。

#### 24時間対応コールセンター設置 **2,000万円**

修学旅行生等専用の新型コロナウイルス感染症相談電話窓口を設置する。



### 主な施策

## 公共交通利用時の感染拡大防止対策と外出支援 **1億6,560万円** (担当課：都市政策課)

### 17 バス・タクシー利用環境整備支援事業 **4,180万円**

市内のバス事業者やタクシー事業者が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、新たに空気清浄装置の設置や車内の抗菌コート処理等の対策を実施した場合に補助する。

補助額：事業者負担の **4/5**

(上限 バス車両 **6万円**/台、  
タクシー車両 **2万円**/台)

### 18 タクシー利用割引券の配布 (妊婦の外出支援) **1,250万円**

妊婦の医療機関の受診や生活必需品等の購入時における個別移動手段を確保するため、**タクシー利用割引券 (500円割引券を10枚) を配布**し、妊婦の外出を支援する。

対象者：2,300人

### 19 タクシー利用割引券の配布 (高齢者の外出支援) **1億1,130万円**

70歳以上の高齢者の医療機関受診や生活必需品等の購入時における個別移動手段を確保するため、**タクシー利用割引券 (500円割引券を4枚) を高齢者の世帯に配布**し、高齢者の外出を支援する。

対象者：63,000世帯

### 主な施策

## 事業者への事業再開支援 **4,350万円**

### 20 事業者への事業再開支援

**1,500万円**（担当課：産業政策課）

市内事業所において感染者が発生した場合に、感染拡大防止に努める事業者に対し支援金を支給することにより営業休止期間等における施設の維持やその後の円滑な事業の再開を支援する。

#### ■支給金額

1 事業者につき **限度額50万円**（1回限り）  
（30社分を計上）

例：施設の消毒に係る経費、事業再開に係る費用  
など

### 21 就労系障害福祉サービス事業者への支援

**2,850万円**（担当課：障がい福祉課）

新型コロナウイルス感染拡大は、障害者の就労の場にも影響を与えている。そこで、障害者の就労を維持・確保するため、国庫補助金を活用した補助事業を実施することにより、就労系障害福祉サービス等の機能強化を図る。

#### ■対象事業者

市指定の就労継続支援A型及びB型事業所  
（一定の条件あり）

#### ■助成金額

1 事業者につき限度額 **50万円**

助成例：生産活動の再稼働等にかかる設備整備のメンテナンス等に要する経費 など

### 主な施策

22

## 医療従事者等への慰労 **1億4,255万円**

(担当課：保育総務課、保育所・幼稚園課、医療政策課、地域教育課)

### 目的

新型コロナウイルス感染拡大の最中、医療機関で医療関係業務に従事した方に対し、感謝と慰労の意として商品券を配布する。

また、緊急事態宣言時においても保育施設等で仕事に従事した保育士及びバンビーホーム支援員等への慰労として、同様に商品券を配布する。

**商品券**：子育て世帯への生活支援のために発行した「**プレミアム付商品券**」と同じ商品券

### 対象及び慰労金

#### ■支給対象者

- ・ 市内医療機関（病院、診療所、歯科医院）に勤務する医療従事者等（医師、看護師、技師、医療事務等）
- ・ 市内保育所等に勤務する職員
- ・ 市内バンビーホーム等に勤務する職員

#### ■慰労金（1人あたり）

医療従事者（約10,000人）

**10,000円分**の商品券（1,000円×10枚）

保育士・バンビーホーム支援員等（約4,000人）

**5,000円分**の商品券（1,000円×5枚）

### 主な施策

23

## 新生児子育て世帯支援 **2億3,200万円**

(担当課：子ども政策課)

### 目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、新生児を抱える子育て世帯の経済的負担軽減のため、国の定額給付金の基準日を過ぎて生まれた新生児を対象に臨時特別給付金を支給する。

### 対象及び支給金額

#### ■支給対象者

令和2年4月28日から令和3年3月31日までの間に生まれ、奈良市に住民登録のある子  
(約2,300人見込み)

#### ■受給対象者

支給対象者の保護者で、令和2年4月27日時点で奈良市に住民登録があり、申請日まで引き続き住民登録がある方

#### ■支給金額

支給対象者1人につき**10万円**（1回限り）

## 主な施策

24

## 観光案内の無人化・見える化 **6,000万円** (担当課：観光戦略課)

### 目的

多くの観光客が訪れる観光案内所で、非接触型の観光案内を推進するとともに、観光施設や店舗等の混雑状況を見える化する。

観光客に混雑を回避した周遊を促すほか、観光案内の利用状況等のデータ蓄積で案内の質の向上を目指す。

### 事業概要

- デジタルサイネージを活用した観光案内に加え、  
**混雑状況等多言語で情報発信 300万円**  
観光案内所にデジタルサイネージを導入し、  
観光案内に加えて多様な情報発信を行う。
- **観光案内の機械化によるストレスフリーの周遊 1,700万円**  
AI等の活用で効率的な案内・送客を促進するほか、  
観光客のニーズ等に関するデータ蓄積を実現する。
- **施設等の混雑状況を「見える」化し、3密を回避した周遊を可能に 4,000万円**  
センサーやカメラで検知した混雑・空席情報を、  
サイネージやスマホ上でいつでも確認可能にする。

## 主な施策

25

### 図書館の機能強化

**3,379万3千円**

(担当課：中央図書館)

#### 電子書籍導入による電子図書館の構築

**2,824万3千円**

電子書籍利用サービスを導入し、24時間365日、利用者がいつでも・どこでも図書館を利用できる電子図書館を構築、「新しい生活様式」にも対応したサービスを提供する。

仕事や子育て、介護で外出できる時間が限られる等さまざまな市民のライフスタイルに対応する新たな読書機会を創出する。

**電子書籍：5,000タイトル導入**

#### 利用方法

図書貸出券を作成



Web上で電子書籍の検索・貸出・閲覧・返却

※利用期間（2週間）が終了すると自動返却される

#### 郵送による予約本の貸出

**555万円**

新型コロナウイルス感染症対策として、貸出を希望する利用者に安心して広く図書を活用していただくため、**郵送（無料）による図書貸出サービス**を行う。

#### 利用方法

図書貸出券を作成



電話・メールで本の利用申し込み



貸出準備完了のお知らせ  
(電話・メール)



図書の発送

※返却は利用者負担で郵送または、図書館カウンター、返却ポストへ

## 主な施策

### 26 月ヶ瀬・都祁地域の光ファイバの整備 **7,994万円**

(担当課：月ヶ瀬行政センター地域振興課)

#### 目的

オンライン学習やテレワークの推進、オンライン診療などに必要な通信環境を確保し、移住や企業誘致にも本整備は強みとなることから、光ファイバが未整備の月ヶ瀬・都祁地域において整備を行う。

#### 事業概要

総務省による「高度無線環境整備推進事業」を活用した光ファイバ整備事業を、民間事業者（こまどりケーブル株）が事業主体となり行い奈良市が費用を一部補助する。

※奈良市内において光ファイバが未整備の地域は月ヶ瀬・都祁地域のみ

#### 対象

月ヶ瀬・都祁地域

※両地域は、平成18年度に通信・放送の同軸ケーブルが整備されているが、通信速度が遅い。

## 主な施策

### 行政事務のデジタル化・オンライン化 **8,854万6千円**

#### 27 職員安否確認システムの導入

**147万5千円** (担当課：人事課)

災害発生時における初動体制の迅速な構築などを目的に、**職員安否確認システムを導入**する。

迅速な災害対応により、市民の命や安全を確保すること等に繋げる。

#### 28 Web会議システム

##### ・コミュニケーションツールの導入

**4,095万9千円** (担当課：情報政策課)

外部機関とのWeb会議に加えて、本庁と出先機関との会議等への利活用も含め、**Web会議システムを導入し、会議等のオンライン化**を図る。

また、職員間の情報交換をより早く、より簡単に行うため**コミュニケーションツールを導入**する。

#### 29 窓口案内システムの整備

**4,611万2千円** (担当課：市民課)

インターネットでの窓口の混雑状況の事前確認や待ち時間案内、来庁時のメールでの呼び出し機能等がある「**窓口案内システム**」を導入し、順番待ちによる3密を避けるとともに市民サービスの向上を図る。

設置予定場所：本庁舎・西部出張所など

#### 経費

窓口案内システム構築委託	4,202万円
窓口案内システム保守委託(6カ月分)	316万円
庁内VLAN整備	93万2千円



## 主な施策

30

## 高齢者等の新しい生活様式への支援活動 **2,300万円** (担当課：福祉政策課)

### 目的

コロナ禍において、高齢者などが在宅生活の中で、孤立せず食事や体力づくりなどができる環境整備が必要となる。

そのために、市内で福祉活動を実施している市社会福祉協議会と連携し、地域特性を生かした活動を展開していくため**地区社会福祉協議会に活動費を助成し、活動を支援する。**

### 対象

市内地区社会福祉協議会 46地区

### 助成金

市内地区社会福祉協議会への助成金

1地区社会福祉協議会あたり**50万円** (上限)

### 事業概要

地域のために様々な福祉活動を実施している社会福祉協議会が、これまで実施している「サロン活動」「見守り活動」などを、コロナ禍において「新しい生活様式」に対応できる活動に変化させ実施する。

活動内容については、地域特性を生かして地区社会福祉協議会からの提案により、その活動内容に応じて市社会福祉協議会を通じて助成する。

### 取組例

- ・ICTを活用した新しい見守り活動
- ・多業種との連携による身近な場所でのテイクアウトの仕組みづくり
- ・新しい生活様式のもとで再開されるサロン活動等の環境整備 など

## 主な施策

### 新たな価値を生み出す観光 **1億6,200万円** (担当課：観光戦略課)

#### 31 ウィズコロナでの修学旅行支援

**1億5,100万円**

修学旅行生獲得に向けた取組として「ウィズコロナ」期でも修学旅行生に安全安心で充実した奈良旅行を提供するとともに、観光関連事業者への需要創出もふまえ、修学旅行をサポートする。

**旅行実施時**：修学旅行生一人につき**2,000円分**を支援

- 修学旅行生のための感染予防対策等にかかる経費  
(3密を避けるためのバス増車・宿泊部屋の追加等)
- 市内での行程を充実させるための経費

**旅行中止時**：修学旅行生一人につき**1,000円分**を支援

- 修学旅行が中止時、将来の誘客につなげるための経費  
(奈良に関する教材や奈良土産の提供等への活用)

#### 32 新たな奈良観光の創出

**1,100万円**

秋の行楽シーズンで、社寺の夜間拝観・参拝にあわせて、夜の奈良を楽しんでもらえる企画を奈良市観光協会で作成する。

新型コロナウイルス感染症拡大で落ち込んだ観光需要の喚起とともに、昼間に集中する観光客の行動時間を夜間にも分散し、奈良公園周辺の混雑緩和と将来的な観光滞在時間の延長を目指す。

## 主な施策

### 地域経済力の強化 **3,700万円** (担当課：産業政策課)

#### 33 商店街等へのにぎわい振興補助

**1,200万円**

市内商店街等に対し事業費の一部を補助することにより、適切な3密対策を行ったうえで、「プレミアム付商品券発行事業」と連動したキャンペーンなど、民間主導による新たなにぎわい振興への取組を促進する。

■補助額 市内商店街：上限**50万円**／団体

市内活動団体：上限**30万円**／団体

#### 34 サテライトオフィス設置による企業誘致 **1,500万円**

主に都心部に立地する企業に対して、「地方に住み働く職住近接のライフスタイル」及び「企業の成長戦略」としての市内におけるサテライトオフィスの設置を支援することにより、市内への企業誘致を目指す。

#### 35 ITスキル習得講座による就労支援 **1,000万円**

初心者及び中級者に対し、段階に応じたITスキル向上講座を受ける機会を提供する。

Webデザインやプログラミング等の基礎を固め、システム開発を行ううえで必要な手法を学び、付加価値の高いレベルのスキル習得を目指し、新たな就労に繋げる。

■受講対象者 (募集人数 **40人**)

新型コロナウイルス感染症の影響により解雇、雇止め、内定取り消し等、就労の機会を失った求職者

■補助対象経費 新たなオフィスの設置に係る初期費用

■補助上限額 **500万円**／社

## 主な施策

36

# GIGAスクール構想の推進 1億5,523万4千円

(担当課：学校教育課)

## 既計上予算分

- 誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの拡充
- 1人1台タブレット端末整備 22,967台**
  - ※R1補正:小4から中3分国費10,170台,市費2,552台 (R1補正予算措置済)
  - ※R2当初:小4から中3分市費2,570台(更新分)
  - ※R2 6月補正:小1から小3分国費5,142台,市費2,533台

## 7月臨時会補正予算(案)分

### インターネット接続環境の抜本的な改善の実現

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休業期間のオンライン学習における課題を着実に解決する。

#### 接続不良の改善

- 速度回線低下の改善
- ICTを活用した環境改善
- ICT機器を活用した個に応じた学びの支援

- 1人1台環境に対応したインターネット接続環境の実現(全小中学生が同時に動画を視聴できる環境を実現する。)
- タブレット端末の家庭利用を支援する。(Wi-Fiルータ貸出支援事業への交付金適用)
- 貸出環境と両立したGIGA環境への移行。
- ウィズコロナ、ポストコロナ時代を見据えたGIGAスクールの実現

※ 9月以降学校単位で順次配備、持ち帰りを含めた運用開始予定  
 ※ R1補正+R2当初+R2 6月補正による予算化済み



### ■R1.3月補正 経費内訳

ネットワーク整備等 10億9,158万6千円  
 計 10億9,158万6千円

### ■R2.6月補正 経費内訳

GIGAスクール推進経費 4,222万9千円  
 端末リース(小1~小3) 4,935万5千円  
 端末リース(小4~中3) 7,141万4千円  
 計 1億6,299万8千円

### ■R2.7月補正 経費内訳

インターネット接続環境の改善 1億2988万4千円  
 家庭学習ICT環境支援事業 2,336万4千円  
 貸出ICT機器再設定経費 198万6千円  
 計 1億5,523万4千円